



# こもれび

宮城教育大学附属図書館ニュース



## 118号

2010. 7. 10 発行



今回の表紙の写真、とてもかわいらしいですね。

これは、「おはなしポケット」のみなさんが図書館展示コーナーで行った展示の様子です。

図書館展示コーナーは、宮教大のみなさんがサークルや授業の成果などを発表する場としてお使いいただけます。図書館入り口のすぐそばなので、たくさんの人の目にとまる場所です。

展示コーナーを使う場合は、1週間前までに、図書館カウンターで申し込んでくださいね。

## 図書館とインターネット

○表紙について	1
○図書館からのインフォメーション	2～4
○特集記事 「図書館とインターネット」	5～8
CiNiiの使い方	6
マイライブラリの使い方	7
電子ジャーナルの使い方	8
○学生の読書室	9
○私と図書館	10～12
○本学教員等著作寄贈図書一覧	12
○編集後記	12

## 図書館からのインフォメーション

### 盗難にご注意ください。<(\_ \_)>

昨年度から図書館を含め、構内で何度か盗難の被害が出ています！

このため、図書館では、24時間防犯カメラを稼働しています。

また、利用者の皆さん一人一人も貴重品は必ず身に付けて行動するなど、身の回りに十分注意してください。館内でほんの少しだけ席を外す時にもお財布などの貴重品は必ず身に付けて行動してください。

### ご存知ですか？貸出期間延長が簡単に \ (^o^) /

この春から、貸出期間の延長がwebでできるようになりました！

図書館のwebサービス：“マイライブラリ”の“借りている資料一覧”から、簡単に貸出期間の延長ができます。

マイライブラリは、自宅のパソコンなど、どこからでもアクセス可能です。もう、重い本を図書館に持ってきて延長の手続きをしなくてもよくなりました。

### (^o^)/お知らせします。夏休み中の長期貸出

夏休み期間中は、学生の皆さんの貸し出し期間を延長します！

夏休み前から返却期限が後期の授業開始日（10月1日）に延長になります。

具体的には、

学部1～3年生は、7/24（土）貸出分から返却期限が10/1（金）になります。

学部4年生・大学院1～2年生は、7/7（水）貸出分から返却期限が10/1（金）になります。夏休み中にじっくり長編小説に取り組んでください。

### (^o^)/お知らせします。夏休み中の開館時間

8月7日（土）から夏休みに入るため、図書館の開館時間が変わります。

月曜から金曜の開館時間は9：00～17：00、土曜・日曜は休館となりますので、ご注意ください。ただし、

\*8/12（木）～16（月）は夏季一斉休業に伴い、休館となります。

\*教育実習期間中の土曜・日曜（8月21～22、28～29日、9月4～5日）は開館（10：00～17：00）します。教育実習の準備などにご利用ください。

※9/30（木）まで夏休み中の開館時間となります。

## 図書館からのインフォメーション

### ご存知ですか？マルチメディア室＼(^0^)/

図書館のマルチメディア室では、開館時間中、パソコンを使えます。

授業期間（月～金）：22時閉館      休業期間（月～金）：17時閉館

※授業期間中は土曜・日曜も開館しています。

というわけで、処理センが閉まった後は図書館でパソコンが使えます。じっくりご利用ください。なお、パソコンの利用にはID/パスワードが必要です。

### ご存知ですか？図書館で飲食できる?!＼(^0^)/

図書館1階エントランス脇のリフレッシュコーナーでは、飲食OKです！

生協が混んでるお昼時、おやつを食べてまったりしたい時などなど、いつでも利用してください。

また、リフレッシュコーナー脇の多目的閲覧室は食べるのはダメですが、飲み物の持ち込みはOKです。

※館内では決められたエリア以外での飲食はご遠慮ください。

### (^0^)/お知らせします。今年は国民読書年です。

2010年は「国民読書年」です。

平成20年6月の国会決議により、2010年を「国民読書年」とすることが定められました。というわけで、宮教大図書館でも様々な取り組みを行っております。

その一つとして、館内各所に読書を推進する「読書のすすめ」コーナーを設置しました。このコーナーは、すでに図書館にある資料の中からオススメのものをチョイスして構成しています。また、新しく購入した図書（新着図書）や話題の図書などのコーナーも図書館を入れて右脇の見やすい場所に移動しました。全て貸出可能です。お手にとってじっくりご覧ください。

## 図書館からのインフォメーション

### ご存知ですか？リクエスト（学生希望図書）＼(^0^)／

図書館に置いてほしい資料はリクエストできます！

レポートや卒論作成に必要な資料が図書館にない、図書館にこんな資料もあつたらいいのに・・・そんな時には、図書館にリクエストできます。

「購入希望図書申込書」に必要事項を記入し、カウンターに提出してください。図書館で選定の上、購入します。ただし、リクエストは一人年間10冊程度を目安とするなどいくつかの基準があり、すべての資料を購入するわけではありませんので、ご了承ください。

### ご存知ですか？展示コーナー＼(^0^)／

展示コーナーは本学学生ならどなたでも作品の展示に利用できます！

あなたの個展も夢じゃない!!

図書館の展示コーナーは本学学生（附属学校児童、生徒を含む）、職員の作品の展示に利用できます。利用するには、利用の一週間前までに、使用願の提出が必要です。利用したい時には、まずは図書館カウンターでお尋ねください。

### (^0^)/お知らせします。図書館の今年の企画展

「歴史のなかの教科書～音楽と保健体育～」を開催！

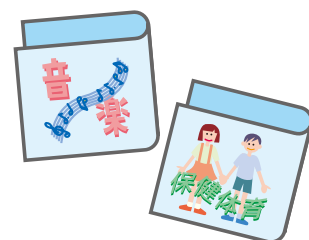
期間：7月27日（火）～8月6日（金）

場所：図書館1階多目的閲覧室

毎年夏に行っている図書館企画展。今年は、音楽と保健体育の教科書展です。みなさんの使った教科書もあるかもしれません。ぜひ足を運んでくださいね。

期間中の7月28日（水）には、音楽教育講座の小塩先生、保健体育講座の数見先生、黒川先生による講演会もあります。

企画展や講演会についての詳しい情報は、図書館内などにあるポスターでご確認ください。



## 特集記事

## 図書館とインターネット –その意外な関係について–

## 皆さん、“図書館”と聞くと何を思い浮かべますか？

まずは、びっしりと本の並んだ書架を思い浮かべるのではないのでしょうか。それも通常は、紙でできた書籍がずらりと並んでいる光景を思い浮かべることと思います。ところが、図書館はそのイメージに似合わず、パソコンやインターネットと深い関係があります。

古くから図書館では、たくさんの資料を管理する必要がありました。少し前まではカードなどで管理をしていましたが、扱う資料が大幅に増えた現在では、資料やデータの管理のほか、図書館業務全般に積極的にパソコンを活用しています。また、近年、大学図書館では、書籍などの紙媒体資料のほか、電子ジャーナルや電子ブックといった電子媒体の資料や（資料などの）検索のためのデータベース、webサービスなども提供しています。更に、図書館で大学発行の雑誌の記事や論文といった大量のデータを管理し、必要に応じて提供していく必要性なども出てきました。このため、図書館、特に大学図書館では、業務はもちろん利用の上でもパソコンやインターネットは必要不可欠なものとなっています。

## 図書館で提供する資料とは、具体的にどんなものなのでしょうか？

通常の本や雑誌はすぐに思い浮かぶと思います。電子ジャーナルや電子ブックといったものも、名称を見れば、なんとなくインターネット上で利用する雑誌や書籍とわかります。Webサービスは、貸出中の資料の予約や他機関からの資料の取り寄せなどマイライブラリでのサービスに当たります。マイライブラリは皆さんすでに利用されているかと思います。それでは、データベースとは、どんなものなのでしょうか？

データベースとは、宮城教育大学で導入しているデータベース：JapanKnowledge（ジャパンナレッジ）で検索してみると、

“データ - ベース（日本国語大辞典 | 見出し自体）

〔名〕（{英} data base）コンピュータで、いくつかのデータのファイルを一つに統合し、データを構造化して、各データの検索や更新を効率化したもの。”と出ます。

つまり、図書館で提供しているデータベースとは、各データ＝資料や論文・記事の検索などができるものと言えます。

## 宮城教育大学で契約しているデータベース（DB）にはどんなものがあるのでしょうか？

代表的なものとしては

- JapanKnowledge（ジャパンナレッジ）：webの百科事典です。
- CiNii（サイニイ）：雑誌に掲載された記事や論文の検索ができます。
- 聞蔵Ⅱビジュアル：朝日新聞の記事の検索ができます。
- KD（カーデー）：河北新報の記事の検索ができます。
- 理科年表プレミアム：理科年表の内容を収録し、検索ができます。
- 電子ジャーナル・電子ブック：これらにも検索機能が付いています。

大学では、これらのDBを利用するために、有料の契約を結んでいます。そのため、利用できるのは学内構成員に限られ、アクセスにも制限があります。CiNiiなどは無料公開されている部分もありますが、有料契約によるオプションもあります。これらを個人で契約すると、かなりの料金がかかります。また、現代ではDBを全く使わずに必要なデータを探すのは、困難といえるでしょう。



**特集記事** 図書館とインターネット –その意外な関係について–

ここからは、代表的なデータベース、マイライブラリ（webサービス）、電子ジャーナルの使い方を簡単に紹介していきます。使っていてわからない点などありましたら、いつでもカウンターにお尋ねください。

**CiNii（サイニイ）の使い方（論文検索の代表的なデータベースです。）**

CiNiiは、NII（国立情報学研究所）が提供している学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービスです。現在、収録されている約1200万件のデータのうちの四分の一ほどは、検索結果から直接、論文本文が入手できるようになっています。

図書館ホームページの右側、情報検索 によく使うデータベースがそろっています。CiNiiは ◆論文記事を探す の中。

CiNiiで検索

CiNiiをクリック

CiNiiの詳細検索で検索開始

キーワードや論文名、著者名などを入れて検索。

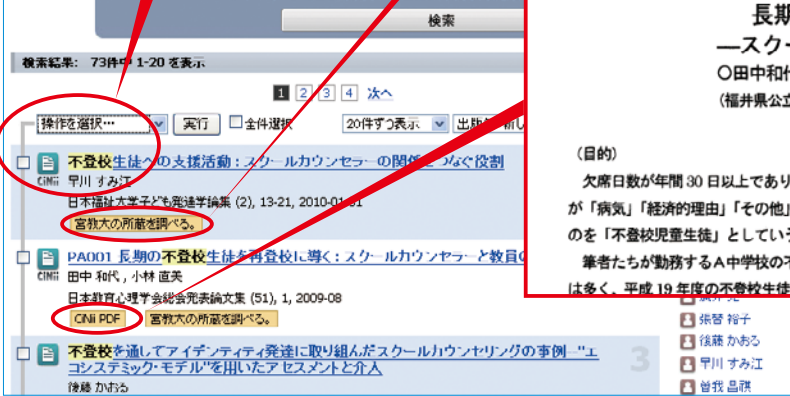
特集記事 図書館とインターネット -その意外な関係について-

検索結果

検索結果にチェックを入れてダウンロードすると、文献リストの作成も簡単です。

学内のPCからアクセスすると検索結果には、宮教大OPACへのリンクが付いているため、宮教大の所蔵が簡単に確認できます。宮教大に雑誌があれば、PDFで見られなくても雑誌からのコピーにより、論文が入手できます。

PDFファイルなどで、その場で論文が入手できる場合もあります。



**長期の不登校生徒を再登校に導く  
—スクールカウンセラーと教員の連携—**  
 ○田中和代 #小林直美  
 (福井県公立学校スクールカウンセラー) (福井県公立中学校教諭)

(目的)  
 欠席日数が年間30日以上であり、かつ、「区分」が「病気」「経済的理由」「その他」に該当しないものを「不登校児童生徒」としていう。  
 筆者たちが勤務するA中学校の不登校の生徒の数は多く、平成19年度の不登校生徒は52人、そして

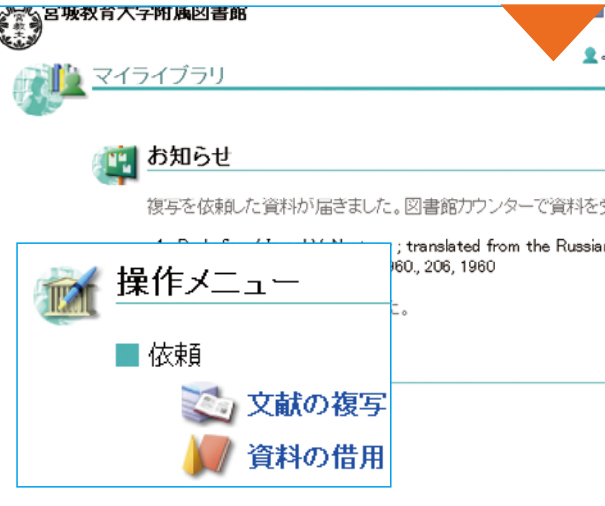
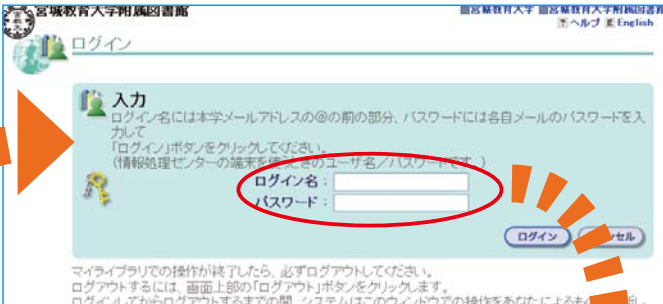
A女：中3、中1の5月より不登校。学校  
 なく、家で寝て過ごしていた。好きなアイ  
 題から登校を促した。金髪、喫煙など問題  
 が、次第に学校への興味が育っていった。  
 登校を経て、卒業式には他生徒とともに参  
 室にも入れた。就職への意欲も高まり、自

CiNiiで欲しい論文は、見つかったけど…その場で論文が見られない (T\_T)

その場で論文が見られなくても大丈夫 (^v^)! PDFファイルなどで論文が読めない場合、OPACで調べても該当の雑誌が宮教大にない場合は、論文単位での入手(文献の複写)が可能です。また、求める図書が宮教大にない場合は、他機関から借りる事(資料の借用)や場合によっては購入希望(リクエスト)が可能です。詳細は図書館カウンターでお尋ねください。CiNiiで希望の論文が見つからない場合は、教育研究論文索引など他のデータベースでも検索してみてください。

マイブラリ (webサービス) の使い方

「文献の複写」「資料の借用」の申し込み(依頼)には、マイブラリの利用が便利です。マイブラリとは、図書館のwebサービスです。上記の依頼のほか、借りている資料の確認や貸出期間の延長などが行えます。



特集記事 図書館とインターネット -その意外な関係について-

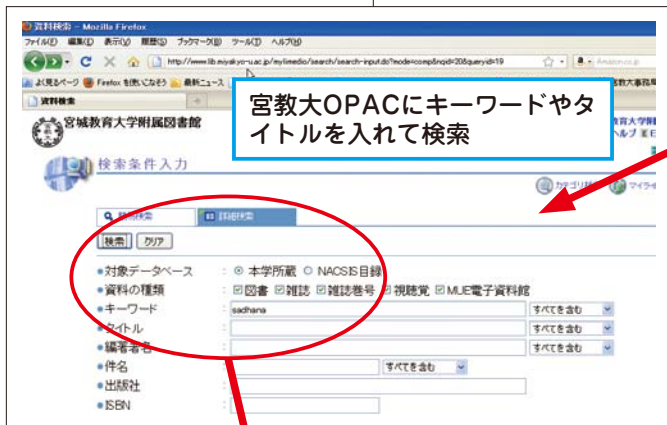
電子ジャーナルの使い方：宮教大OPAC から利用

宮城教育大学で利用できる代表的な電子ジャーナルは、EBSCOhost・Science Direct・Springer Link。これらは利用するために、有料の契約を結んでいます。そのため、これらを利用するにはいくつかの制限があります。たとえば、アクセスは学内のPCからのみ、利用できるのも学内構成員のみ、となっています。これらの電子ジャーナルは、個々のサイトやOPACリンクから利用できます。

このほかにも無料で公開されている電子ジャーナルなどもあり、学内からなら、わかっているだけでも実に2万タイトル以上の電子ジャーナルに簡単にアクセスできます。図書館ホームページにはタイトル確認のための電子ジャーナル一覧も用意してあります。

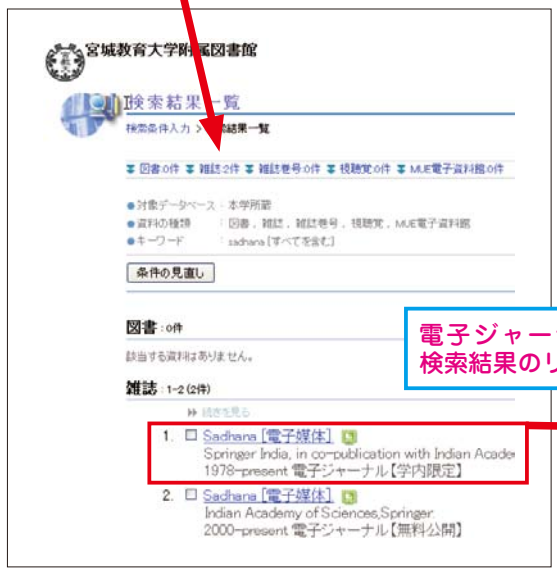
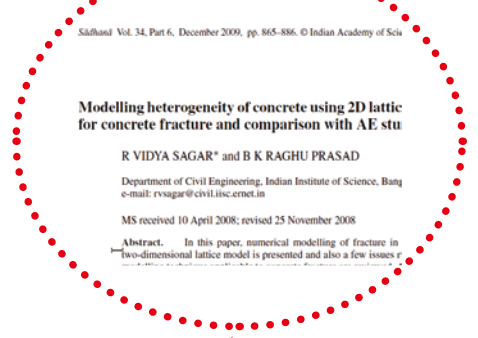
また、電子ジャーナルはOPACでの検索が可能です。タイトルが判明している場合には、OPACで検索し、検索結果のリンクからの利用が便利です。

OPACは図書館ホームページの中央にあります。



- ◆ 宮教大の本・雑誌を探す
  - 蔵書検索(OPAC)
  - 修士論文リスト
- ◆ 他機関の本・雑誌を探す
  - ◇ 蔵書検索とは？

電子ジャーナルはPDFファイルで閲覧



電子ジャーナルはOPACの検索結果のリンクから利用





# 第13回 学生の読書室 ～私が選ぶこの一冊～



## 『100万回生きたねこ』

(作・絵 佐野洋子 昭和52年10.20 講談社)

初等教育教員養成課程子ども文化コース2年：佐々木 夏美

これは100万回死んで100万回生きたねこの物語。ねこは100万年の間たくさんの人に飼われ、愛されてきました。けれども、ねこが飼い主を好きになることは一度もありませんでした。だから自分が死んで飼い主と別れることなんて悲しくありません。ねこは自分が死ぬことさえも平気だったのです。ある時、のらねこに生まれ変わったねこは、一匹の白いねこに出会います。やがて2匹に子どもが生まれ、ねこは家族を持つことに。それまでは自分が大好きだったけれども、ねこは白ねこ子どもが自分以上に大切になりました。ねこはいつまでも白ねこのそばにいたいと願い、いつまでも一緒に生きていたいと思いました。そして100万回死んでも悲しくなかったねこは、白ねこを失った時初めて涙を流すのです。

絵本とはいうものの子どもが読むには少し難しいと感じるかもしれませんが、それほど奥が深く考えさせられる内容です。大人向けの絵本といっても過言ではないと思います。「人生で大事なものは長さではなく、質であること」「誰かを愛することは何よりも価値があること」そんなメッセージを、100万回生きても「生きる」ということに何の意味も見出さなかったねこが、最後には本当の愛を知り、幸せを感じ、悲しみを知って、やっと死を迎えられた姿から感じ取ってもらえればよいと思います。



## 『教育力』

(齋藤孝、岩波新書、2007年)

初等教育教員養成課程子ども文化コース2年：大谷 航

教育は日常のあらゆる場面で展開されている。場所は様々だが、一番に思い浮かぶのは学校であることは間違いないと思う。本書は「良い先生」の条件を数々の斬新な視点から明らかにすることで、学校に限らず、会社や家庭で管理職や親として「教える」立場にあるすべての人に役立つ「教育力」について迫っている。

筆者の主張は、動もすれば理想論と受け取られてしまうようなものも少なくない。しかし、その理想に向かう姿勢を忘れて教育者でいようとするのは、筆者の言葉を借りると「罪悪」であることも確かだ。そのあたりのトレードオフの関係が本書で最も頭を悩ます問題であり、読み手の教育者としての個人的な資質が問われる部分である。

構成の支柱部は「対人関係能力・コミュニケーション力の向上方法」「～する力」「理想の教育者像」からなり、具体的なメソッドの分量は比較的少ない。尤も、そこを差し引いても、筆者の長年の主張が濃密に詰まった次世代の指標となるべき「教育論」であり、非常に丁寧に作られている良書に相違ない。

これから教師を目指す方のみならず、人を指導、監督、教育、啓蒙する立場となって、それらの原理原則と正しい方向を知りたい方々にも是非読んでいただきたい一冊である。



## 【原稿を募集します】

ここは学生のみなさんにお薦めの本を紹介してもらうコーナーです。みなさんからの投稿をお待ちしています。以下の必要事項を記入の上、いずれかの提出方法をお選びください。

### ■必要事項

- ・専攻・学年・お名前・連絡先
- ・紹介したい本のタイトルとその著者名・出版社
- ・紹介文(400字程度)

### ■提出方法

- ・メールの場合は toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp まで
- ・USB等の場合は 図書館カウンターへ

### ■注意事項

- ・こもれび次号は3月発行です。
- ・原稿はこもれび編集委員会で選定の上、掲載します。
- ・採用された原稿は図書館ホームページにも掲載されます。
- ・学生の読書室で紹介された本は、図書館の「学生の読書室」コーナーに並べられます。

『私と図書館』

## 「図書室に行ってみろや」

亀倉 靖宏

「本ってのは、いいぞ。何より思想が豊かになるし、今読まなくとも書棚に飾っておくだけでも格好がいい。図書室に行ってみろや。」そう言って生徒たちに勧めたものだ。

この春、実務家教員として宮城教育大学に戻ってきた。ほんのちょっと前までは中学校の教員だった。今、小・中学校では読書が生活の一部になるほど、本を読む児童生徒数が増えてきている。学校では「図書室」と言われるが、昔のそれと比べて、今は蔵書数もバリエーションも大変豊かになってきている。読書好きの子供たちによるポスターで図書室が飾られ、休憩時間の図書室は一人静かに読むもよし、何人かで本をのぞき込み共通の話題で盛り上がるもよしといった具合で、一種の社交場のような雰囲気さえある。

しかし、私が図書室／図書館の良さが本当に分かったのは、教員になってからだった。「図書室なんて関係ないさ」小中学校時代の私は、書棚の陰に隠れる友達を追っ掛けて来室するのが関の山。高校では、受験参考書を開く机の場所。そんな私が図書室を勧めるなんておこがましい限りだが、教員海外派遣研修で多に認識が変わったのだ。

10年以上前だが、イギリス／エセックス大学で半年ほど研修する機会があった。大学の講義や演習に

参加したり、近隣の学校を訪問したりと、正に学生時代に戻ったようだった。そこで一番苦勞したのが、自分の研究テーマに基づく小論文を作ることだった。考えの裏付けを多くの著書から得る必要があり、読まなければならない本が山のようにあった。担当教官より薦められた本の予約が何人も重なっていたり、どの学生も本にかじり付いていた。ランドリーコーナーで洗濯しながら読書をする学生の姿は、当たり前前の光景だった。私はロンドンまで本を買うために何度も出掛けることができたが、お金の余裕がない学生にとっては、図書館は正に「命の綱」だった。

必要にかられて仕方なくの読書だったが、そうこうするうちに、自分の回りにいかに興味深い本が多いことか気付いたのだ。研究テーマに関係のない色々な本も寮の私の部屋にたまっていったが、帰国時には重すぎて郵送することも難しく、随分と手放してしまった。今、大学の図書館をのぞいてみると、当時探しまくっていた本にお目に掛かることができる。

図書室なんて関係ないと言った「食わず嫌い」を恥じ、今は堂々とやっている。

「本はいいぞ。図書室に行ってみろや。」

(教職大学院)

## 貴重な空間

箱田 恵子

中国近代史を研究している私にとって、図書館は不可欠の存在である。実際、これまで史料収集のために国内外の様々な図書館を直接・間接に利用してきた。その過程で一体どれほどの図書館員の方のお世話になったことだろうか。この原稿を書きながら、自分の研究が多くの図書館員の方によって支えられていることを改めて痛感している。

中でも特に思い出に残っているのは、初めての東京で道に迷い、開館時間内に辿り着けなかった私を、史料を準備して待っていて下さった一橋大学附属図書館の方である。今思い返しても、何も分からないまま突然電話した学部生の私に対し、本当に親切に接して下さったと思う。

また、陽気でおおらかな台湾の図書館員さんからは、行きたびにいつも元気をもらっている気がする。台湾の国家図書館や中央研究院の各図書館はシステムが整っており、短時間で効率よく史料を集めることができるのだが、人見知りの激しい私にとってさらに有り難いのは、この友達のように気さくに接し

てくださる図書館員の方の存在かもしれない。

このようにこれまでお世話になった図書館員の方の顔を何人も思い浮かべることができるのだが、その一方で、空間として好きなところといった場合、それとはまた違うタイプの図書館のことが思い出される。北京の故宮博物院の程近く、北海公園西隣にある中国国家図書館古籍館は1931年開館の風格ある建物で、その閲覧室でひたすら鉛筆で漢籍史料を書き写す作業は、効率とはまったく無縁だが、史料との対話に没頭できるあの静かな空間で過ごした時間は、幸福感で満たされていた。実は私がこの3月まで暮らしていた京都にも同じような雰囲気の図書館閲覧室がある。だが、史料の必要部分をコピーするだけで慌ただしく立ち去ってしまうことが多く、せっかくの蔵書を十分に活用できなかった。もっと史料と向かい合う機会を大事にしていればよかったと、京都を離れた今、少し後悔している。

(社会科教育講座)

## 私と図書館

Adrian Leis

私は毎日福島から電車で通勤しています。たいいていの人が電車の中では携帯電話を見たり、友達と話したり、寝たりしていますが、私はこの電車の中の4時間（往復）を読書のために使っています。授業関係の教科書や小説などに加えて、特に興味を持っているのは心理学やコミュニケーションに関するノンフィクションの本です。だいたい二日に一冊のペースで読み切ってしまう。そうすると、やはり書籍代がかさみますので図書館を利用して本をたくさん借りています。無料ですからかなりの節約になります。

図書館には聞いたこともない本がたくさんありますので、ゆっくり見て面白そうな本を借りることもできます。購入する必要がないので、普段読まないジャンルや少しだけ興味のある本などを気楽に借りて、新しい知識を得ることもできます。

私の子供二人も本を読むのが大好きです。毎晩寝る前に絵本二冊を読みます。子供になるべく多くの本に触れて欲しいので、毎週末に図書館に行き一人5冊（私も入れて、計15冊）を借りています。図書館に行くと子供たちは読みたい本を思い思いに選んで、迷いながら5冊に絞り込みます。新しい本だけではなく、自分が子供の頃に読んだ絵本やベストセラーを薦めたりしながら、親子での時間を楽しんでいます。何度も足を運ぶうちに図書館では静かにするというルールも自然と身に付いたように思います。

私にとって図書館はうちから徒歩5分の場所にあって欲しい存在です。残念ながらそうではないのですが。

（英語科教育講座）

## 宮教図書館父娘二代記

越中 康治

着任からふた月たったのに、まだ一度しか図書館に行っていない。「私と図書館」というテーマで原稿依頼をいただいて気がついた。年度初めに、教育心理学コースの学生さんと図書館にたまった雑誌を取りに行っただけで本を開いてすらいない。これではいけないと思い、あわてて図書館に行ってみた。

改修された図書館は見違えるほどきれいになっていた。もっとも、今から十年ほど前、幼児教育の学生だった頃の記憶がはっきりと残っているわけではないのだが、建物だけでなく、全体的な雰囲気がかかなくなった気がする。まず目を引いたのは館内に入ってすぐの児童図書コーナーで、これは私の学生時代にはなかったように思う。

そういえば妻が言っていた。そのうち娘と宮教の図書館に絵本を読みに行くと。宿舎の上の階にお住まいのN先生に、ここを教えていただいていたのだ。一歳のうちから図書館に通えば、娘は、本が好きになるかな？

そんなことを思いながら、館内をぶらぶらした。

電動書庫のボタンを押して開け閉めしたり、国語の授業でお世話になった日本国語大辞典や大漢和辞典の背表紙をなでたりしているうちに、なんだかすっかり満足してきて、私は図書館を後にした。本を開かなかったと気づいたのは研究室に戻ってからであった。

図書館に行ったのが二回だけで、本は一冊も開いていないというのでは、恥ずかしくて原稿が書けない。悩んだ末に、娘と児童図書コーナーで絵本を読んで「はじめての図書館」という話でも書こうと思いつき、妻に伝えた。

「…というわけで、一緒に図書館へ…」

「あら、もうこのあいだ行ってきちゃった」

せつかくの計画が台無しである。

「ああ…。で、絵本はたくさん読めた？」

「全然。でも、絵本コーナーの手前のね」

「うん」

「エレベーターのボタンを押して遊んだのよ」

（学校教育講座）



## 本とのふれあい・人とのふれあい

小野寺 泰子

「図書館」という言葉を耳にすると、心地よい静かな世界が頭の中に広がる。数多くの人が入り込んでおぼつかなく、窓の外に目を向けると、木々の緑が美しく、なんとも気持ちがよい。

このように思い出すのは、小学校の夏休みに友達と2人、自由研究を進めるために通った市民図書館である。出会ったことのない多くの本に感動し、夢中で本を探しては、書き写したりまとめたりする作業を続けた。ある時、文章をノートに写すことしか知らず必死に鉛筆を動かす小学生に、そばで勉強していた高校生が、「絵や写真は図書館の人に頼んでコピーしてもらおうといいよ。後でそれを貼って見せたりできるでしょ。」と親切に教えてくれたことがなんだかとてもうれしかった。そして、ふと周囲を見回してみると、図書館には、楽しげに本を選んでる親子や必死に勉強している受験生、本を積み上げて課題を進めている高校生や大学生、ゆったりと本を読んでいる人、難しい顔をして手帳にメモをしながら専門書をめくっている人など、それぞれが独自の世界にいた。学校の教室とはまた違った空間の中に自分の落ち着ける場所を見つけたような気がして、以後、私は何かにつけ市民図書館や学校の図書室に足を運ぶようになった。

小学校教員になってからも、図書館は日々の授業

のための情報収集や資料作りのために欠かせない存在であった。抱えきれないほどの本を借りたり、放課後の図書室の机いっぱいに模造紙を広げたりと始終出入りしていた。だが、それ以上に、子供たちと学校の図書室で共に過ごす時間はとても貴重なものだった。月に数回、図書室の割当てのある日に学級の子供たちと図書室に行き、読書を楽しむという活動を行っていたことがある。1年生を担当していた時には、カーペットのあるコーナーで座って読み聞かせをしているうちに、いつの間にか子供たちが私にぴったり顔をくっつけて話を聞いていたことにびっくり。また、5年生を担当していた時は、「先生、この本読んでほしい。私、感動したの。」と言われて読み始めた本に、私自身が感動して子供たちと一緒に泣いてしまったこともあった。また、市民図書館や地域のボランティアの方々との本を通しての心温まる交流も思い出深い。子供たちは次第に自分で読みたい本を選び、静かで心地よい空間の中で本を楽しむようになっていた。

様々な本を通して、子供たちとふれあってきたことが今も心に残っている。成長した子供たちは、今、どんな本を手をしているのだろうか。

(家庭科教育講座)

### 本学教員等著作寄贈図書一覧 (平成21年4月～平成22年3月受贈分)

萬伸介 (数学教育講座)

- ・資料「林文庫邦書目録 原稿」修正版／研究代表者 萬伸介／宮城教育大学 2008年 (科学研究費補助金基盤研究 (C) 研究成果報告書)

小金澤孝昭 (社会科教育講座)

- ・内蒙古草原地域の草地劣化と退耕還林政策に関する地理学的研究／研究代表者 小金澤孝昭／宮城教育大学 2008年 (科学研究費補助金基盤研究 (B) 研究成果報告書 平成15年度～17年度)

田中武雄 (学校教育講座)

- ・学校給食を活用した栄養教育用コンピュータ教材の開発研究／研究代表者 田中武雄 宮城教育大学 2001年 (科学研究費補助金基盤研究 (B) 成果報告書 平成10年度～12年度)

渡辺孝男 (家庭科教育講座)

- ・学校給食を活用した食教育・学習カリキュラムづくりの研究／研究代表者 渡辺孝男 宮城教育大学 2006年 (科学研究費補助金基盤研究 (B) 研究成果報告書 平成15年度～17年度)

編集委員 附属図書館運営委員 菅井 裕行 (特別支援教育講座) 黒川 哲也 (保健体育講座)

### 編集後記

話題のiPadをみなさん体験しましたか？ここ2～3年のうちに、一気に普及しそうな気がします。教科書も参考書もすべてiPadで…という日も遠くなさそうです。